

# 予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 AAIC開催事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化創造課 文化創造係

電話番号：058-272-1111（内3123）

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 76,878 千円 （現計予算額： 0 千円）

### <財源内訳>

| 区 分        | 事業費    | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|            |        | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 現 計<br>予算額 | 0      | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 補 正<br>要求額 | 76,878 | 38,439     | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 38,439     |
| 決定額        | 76,878 | 38,439     | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 38,439     |

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

県では新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、全国規模の現代アートの公募展「Art Award IN THE CUBE」を開催している。

2023年4月22日（土）～6月18日（日）に第3回として開催された「Art Award IN THE CUBE 2023」（テーマ：「リアル」のゆくえ）では、県内外から総勢6万人を超える来場者にお越しいただき、若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層に多様なアート表現に触れる機会を提供することができた。

### 【Art Award IN THE CUBE（AAIC）の概要】

- ・主 催：AAIC実行委員会、岐阜県
- ・開 催 年：トリエンナーレ方式（3年に1回）  
※第1回は2017年、第2回は2020年、第3回は2023年に開催
- ・応募規定：キューブ空間 [幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6m] に、決められたテーマを解釈・表現する作品を国内外から募集（分野・技法・手法は問わない）

### （2）事業内容

第4回となる展覧会「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けた検討、開催準備を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。  
(地域未来交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額     | 事業内容の詳細  |
|------|--------|----------|
| 負担金  | 76,878 | 実行委員会負担金 |
| 合計   | 76,878 |          |

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。

将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、実行委員会を継続し事業を実施する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
第4回となる展覧会「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けた検討、開催準備を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名    | 事業開始前<br>(R元) | R4年度<br>実績 | R5年度<br>目標 | R6年度<br>目標 | 終期目標<br>(R8) | 達成率 |
|--------|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| ① 応募総数 | 710件          | 574件       | -          | -          | 580件         | -   |

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

|       |   |
|-------|---|
| 令和4年度 | ○「Art Award IN THE CUBE 2023」作品受付（2021年12月～2022年5月）の結果、国内外から574件（うち海外からは香港、豪、シンガポール、米、独など11の国と地域から31件）の応募が集まった。<br>○応募のあった574件の企画書による一次審査会（2022年9月開催）を経て入選作品14点を選考。その後、入選作品の発表、作品の事前制作、会場設営（県美術館へのキューブの制作・設営、作品設置）を実施。<br>○2023年4月の開幕に向け、展覧会の認知度・関心を高め、来場者数増につなげるため、各種PRイベントや美術系ウェブサイト・専門誌などによる広報、各種SNSでの周知を実施。 |
| 令和5年度 | ○「Art Award IN THE CUBE 2023」を開催し、61,763人（会期50日間、1日平均1,235人）が来館。<br>○次期開催に向けて各種検討を開始。   |
| 令和6年度 | ○「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けて、有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「AAIC企画委員会」において、目的、テーマ、開催場所等の検討を行った（5回開催）。  |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|  |   |
|--|---|
| ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)<br>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない   |   |
| (評価)<br>2  | 県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。   |
| ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)<br>3 : 期待以上の成果あり<br>2 : 期待どおりの成果あり<br>1 : 期待どおりの成果が得られていない<br>0 : ほとんど成果が得られていない |   |
| (評価)<br>2  | 第3回となる「Art Award IN THE CUBE 2023」は、応募総数574件、来場者数は過去最高の延べ61,763人となった。若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層の来場があった。<br>また、展覧会としても、入選作家、審査員、美術関係者から高い評価を得ている。 |
| ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)<br>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている   |   |
| (評価)<br>1  | ボランティアスタッフの活用など、展覧会を支える取組みも成果があった。  |

### (今後の課題)

|   |
|---|
| ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項<br>申込者の管理、審査の効率化が必要。<br>また、今後、長期的な観点から事業の検証・総括・見直しが必要。 |
|---|

### (次年度の方向性)

|   |
|---|
| ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br>申込者の管理、審査の効率化を図るため、これまでの紙媒体を前提とした方法ではなく、システムを活用した運営方法に変更する。<br>申込者の増加を図るため、前回の申込結果(アンケート)等を活用した、効果的な広報を行う。 |
|---|